

平成27年度環境影響調査結果報告書にかかる意見について

平成28年9月、猪名川上流広域ごみ処理施設組合から、本委員会に対し、「平成27年度環境影響調査結果報告書」が提出されました。

これは、組合が「猪名川上流広域ごみ処理施設組合が設置するごみ処理施設に係る環境影響調査等の実施に関する条例」に基づき、平成27年度に実施した環境影響調査の結果を「調査結果報告書」としてとりまとめたものです。

ごみ処理施設につきましては、その稼働によりまして、周辺住民の方々の健康や生活環境へ何らかの影響があるのではないかという不安、あるいは、地球環境という視点からの影響など、広範囲に高い関心があります。

そのため、「調査結果報告書」は、同条例の規定により、15日間公衆の縦覧に供することになっております。

本委員会の委員は、学識経験者、周辺の住民、並びに、関係行政機関の職員から構成されており、それぞれの立場での意見をお持ちであることから、個々の委員の意見をそのまま公表することにより、各々の思いや考え方を住民の皆さまに広く知っていただき、猪名川上流広域ごみ処理施設を巡る環境保全の状況につきまして、ご理解を深めていただくことに繋がればと考えています。

平成28年11月1日

猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会

委員長 吉田篤正

平成 28 年 10 月 14 日

平成 27 年度環境影響調査結果報告書に係る意見書について

猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会

委員長 吉田 篤正 様

国崎自治会長 清水 正克

何時もお世話になりありがとうございます。

さて、表記の件で、少しばかり環境影響調査についての意見を述べさせていただきます。

1. 全般的な感想

日々、焼却場のプラント安全稼働に注意を注いで頂き、これまで重篤な事故の発生もなく、安全に過ごせていることに大変感謝する次第です。

また、日頃より焼却場稼働に伴う環境への影響について、継続的に、多くの観点より詳細な調査を頂き、特筆すべき環境への影響が無いことは、心強く安心するばかりです。

2. 部分的な感想

2-1 リスクマネジメントにつて

もしもの事態が発生した場合のリスク管理についてご確認いたします。

この焼却場には具体的にどのようなリスクが潜んでいるのでしょうか、環境への影響について専門的な観点からのリスク分析や、リスク回避の対処方法、地元への説明など事前に設定、対策等がなされているようなら教えてください。

2-2 ホットスポットの確認について

既往の環境調査では特に報告されていませんが、局部的に汚染物質が蓄積する、いわゆるホットスポットのような場所は、当処理場内では見当たらないのでしょうか。知らず知らずの内に汚染物質が蓄積して、高濃度となり環境破壊に繋がるような事が無いように、特にホットスポットのような場所の調査の必要性を少し感じます。

例えば、場内 2 か所の雨水調整池内の土砂について、堆積土壌を採取し、従前の河川低質調査で実施されている分析項目と同様の分析内容で、調査を実施していただくなど、ご検討頂ければ安心かと思えます。予算も厳しい折、今後ご検討頂ければ幸いです。

以上